2 学 期	<p>「言語と他者」 【知識及び技能】 一般的な類義関係の語による言い換え、本文での関連付けによる言い換えの関係を的確に把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、前半と後半の役割の違いを利用して本文の内容理解に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 ことばと世界とのかかわり、を引用を交え異なる側面から検討する論の展開を粘り強く追い、理解する。</p>	<p>・筆者の論の展開のしかたや、表現のしかたに注意して読む。 ・言語と他者の関係について考えを深める。 ・ワークシート等を用いる。</p>	○	○	<p>●文中で言い換えられている語句を見つけ、語義を適切に理解している。「所有」から「共有」などのキーワードの変化に着目し、前半と後半を適切に区切ることができる。 ●「ことばによる世界の所有」と「(他者との世界の)共有」という対比に着目し、筆者の考えを整理している。 ●本文で示されている言語の側面の一つを取り上げ、それに関わらせて自分の考えを示している。 ●学習課題に沿って筆者の主張を読みとろうとしている。 ●本文や自分の経験を踏まえて言語の人間に対する役割を考えようとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>「無常ということ」 【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語感を豊かにしている。 【思考 判断 表現】 「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って、筆者の思索の流れに注目しつつ、積極的に自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>・筆者の思索の流れや論の展開のしかたをとらえる。 ・「美」「歴史」「解釈」などについて、自分の考えを深める。</p>			<p>●「…ばかりではなく、…かもしれない。」 「…(な)のではない。…(な)のである。」といった表現の使い方を理解している。 ●本文中で挙げられている古典作品や人物について調べている。 ●「一言芳談抄」が筆者にもたらした影響や、筆者の「美」「歴史」「人間」についての考え方を読み取っている。 ●筆者が「現代人」と「無常」との関係をどのようにとらえているかをとらえている。 ●進んで文章の叙述をもとに要点を整理しようとしている。 ●筆者の歴史観に対して自分の意見をもとうとしている。</p>	○	○	○	18
3 学 期	大学入試問題演習		○	○		○	○	○	5
									合計
									75